

THE WORLD 2019



ザ・ワールド 2019

大橋可也 & ダンサーズ

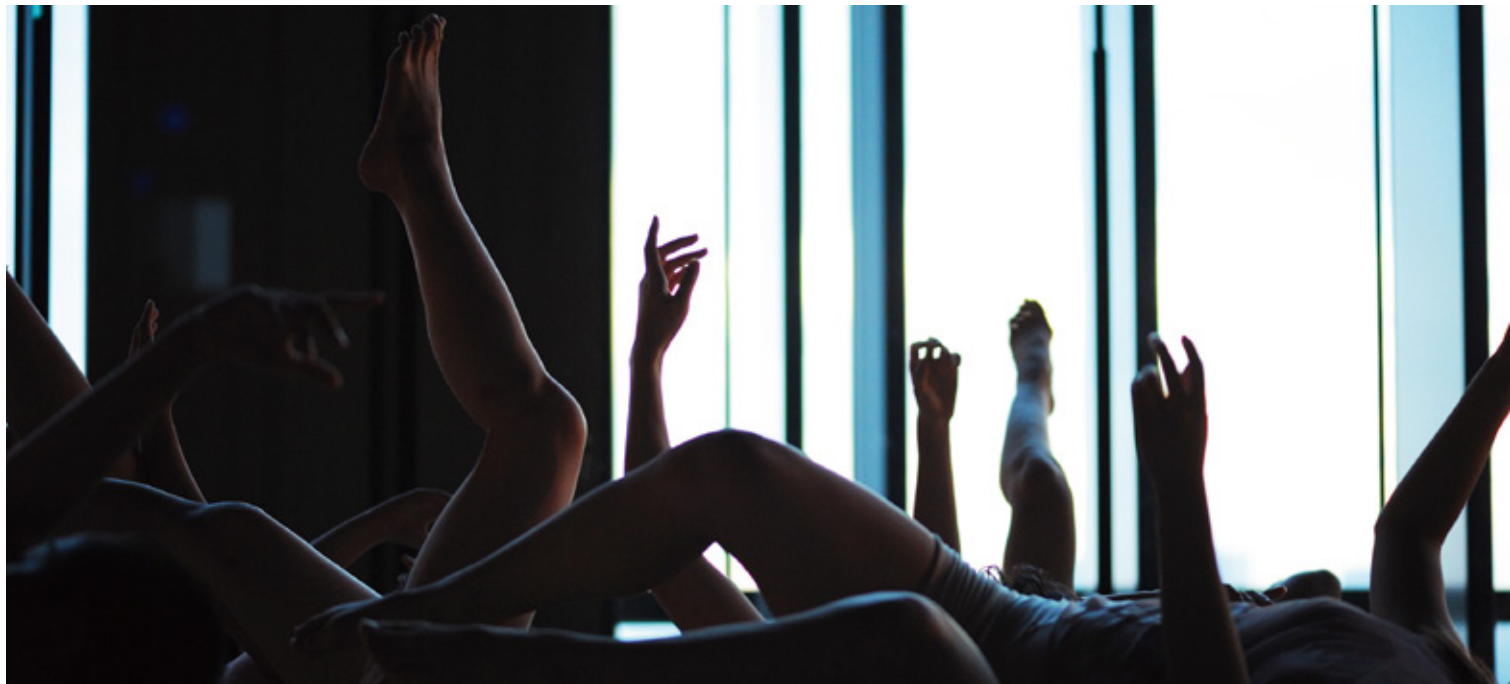
KAKUYA OHASHI AND DANCERS



2019.7.27-28
TOLOT/heuristic SHINONOME

大橋可也 & ダンサーズ 20周年記念公演

KAKUYA OHASHI AND DANCERS



東京オリンピックを翌年に控えた2019年、日本コンテンポラリーダンスの極北をひた走る大橋可也&ダンサーズが結成20年目に発表する「ザ・ワールド2019」は、江東区湾岸地域 TOLOTの1300㎡空間に4部構成、各回100名限定、ハードコアかつストイックな上演5時間を超えるエキストリーム・2デイズ・パフォーマンス。

ザ・ワールドについて

大橋可也&ダンサーズとドラマトゥルク長島確によって、2013年より始動。《土地の記憶を吸う吸血鬼》をモチーフに、2020年の東京オリンピックに向けて変貌する江東区内でのリサーチに基づいてダンス作品をつくるプロジェクト。2014年3月に、森下スタジオおよび牡丹町商店街会館にて開催。2015年3月に、清澄白河から東陽町のエリアにかけて、散歩型作品『クラウドッド』、劇場型作品『ヘヴィメタル』を上演、小冊子『ザ・ワールドからの声』を発表。2017年9月に、豊洲シビックセンターホールにて『FALLING GOOD SUN』『BAD MOON RISING』を上演、小冊子『ザ・ワールドのための記憶』を発表。

取り残された記憶。
ひとつずつ継ぎ足される埋立地は、
区画ごとに時差ができていく。
新しい区画の傍で、
取り残された時が止まっている。
新しい区画も、
やがて時が止まる。
記憶の孤島では鳥が鳴き、
植物が風にそよいでいる。

振付・構成・演出 大橋可也
ドラマトゥルク 長島確
音楽 涌井智仁、元鼓次郎
映像 吉開菜央

出演 皆木正純、後藤ゆう、横山八枝子、小松杏里、田端春花、高橋由佳、ヒラトケンジ、近藤康弘、和田繭子、田花遥、坂尾菜里、今井亜子、植野晴菜、リサーチャー 飯岡幸子、星菜里

衣装 〆う (ROCCAWORKS)
照明 筆谷亮也
音響 牛川紀政
舞台監督 原口佳子 (モリブデン)
グラフィックデザイン 石塚俊
ノータレーションブック編集 滝野原南生
制作 滝沢優子
広報協力 瀧本麻璃英
協力 山本晴歌、古郡稔

ザ・ワールド2019

主催：一般社団法人大橋可也&ダンサーズ
助成：芸術文化振興基金
協力：公益財団法人セゾン文化財団
問い合わせ：大橋可也&ダンサーズ
E-mail office@dancehardcore.com
Facebook @kakuyaohashianddancers
Twitter @DancersOffice

2019年7月27日(土)ー28日(日)
TOLOT/heuristic SHINONOME

時間 | 開場・開演14:00
料金 | 一般5,000円 / アーティスト4,000円 / サポーター 10,000円
予約 | DANCEHARDCORE.COM

活動を応援してくださる方はぜひサポーター料金を。特典はありません。
受付は開場30分前、19:30終演予定。リサーチと振付を記録したノータレーションブック付。
会場住所：東京都江東区東雲2-9-13 (りんかい線東雲駅徒歩5分)

大橋可也&ダンサーズ | 1999年、結成。土方巽直系の暗黒舞踏の振付法を基に現代社会における身体の在り方を問うダンスカンパニー。代表作に、秋葉原連続殺傷事件に想を得た『帝国、エアリアル』(2008年・新国立劇場)、飛浩隆の長編小説を題材にした『グラン・ヴァカンス』(2013年・シアタートラム)がある。

大橋可也&ダンサーズ 20周年記念公演